



虫はどれくらい種類がいるの

動物の中ではいちばん多い

今わかっている、世界中の動物の種類を合わせると、およそ100万種ぐらいと考えられています。そのうち、いちばん種類が多いものがこん虫で、全動物の4分の3をしめる、75万種といわれています。学者によっては、85万種いるという人もいます。また、毎年、新しい種類のこん虫が見つかっていますから、もっと増えていくでしょう。

こん虫の種類が多いわけ

なぜ、こんなにこん虫の仲間が、多くなったのでしょうか。

こん虫は、ほかの動物に比べて体が小さいので、せまい所でも、食べ物が多くなくても、たくさんの仲間とくらしていただけます。また、羽があつて遠くまで移動でき、食べ物の種類やすみかがさまざまなので、すみ分けをして、同じ場所でも、さまざまな種類の仲間がいっしょにくらしていただけます。寒い南極、水の少ない砂ばく、土の中、光のないどうくつの中、川の底、木の葉や幹、根のまわり、ほかのこん虫の体内(寄生こん虫)など、こん虫は、どんな所にもいます。

いちばん種類が多いこん虫は甲虫

こん虫の中でいちばん種類が多いのは、よろいをきたようなカブトムシやカナブンなど甲虫の仲間、およそ28万種、次に多いのが、ハチの仲間、およそ12万種、その次に多いのが、チョウやガの仲間、およそ11万種います。(監修・中山 周平)

